

予言

7

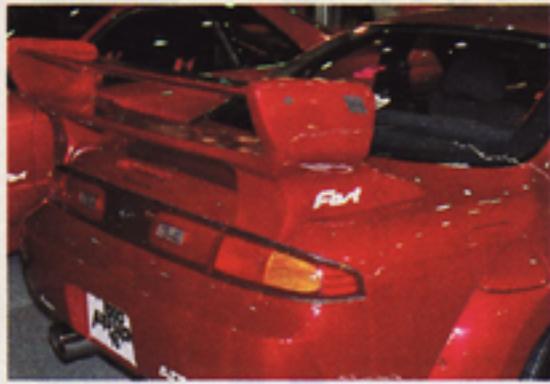
今年のエアロパーンは デザインより機能を追求する

前年のエアロの主流は、高くそびえ立つリアスポイラーだった。今年は何か流行る? 東京オートサロンで見かけた最新エアロを中心に、今年に流行しそうなデザインを占ってみよう。



ZEAL PASSION Z1-01

ブレーキパッドでおなじみのエンドレスが、ジール・ブランドでインテグラ用エアロを発表。とりわけアルファ風のFグリルをもつスポイラーが注目を集めていた。「インテグラの顔ツキをなんとかしたいと思っているオーナーは多いはずですよ。このフロントスポイラーはアルファ風でカッコいいでしょ。ライトはノーマルのままだから(位置も変わらない)、車検もこのままでOKなんです(花園社長)」のこと。



TBOレース用リア ウイングspoiler

まるでお城の上にそびえ立つ「しゃちほこ」? 「日本の」な建築を思わせる、異様な存在感が漂っていたTBOのレース用リアウイングspoiler。同時に装着していたオーバーフェンダーといい、このS14シルビアに装着されていたエアロはいずれも発売される予定という。オーバーフェンダーは2月末の発売予定となっている。これからは、見たことのないような形のエアロが出現してきそうだ。



BOMEX バンパースポイラー

アリゲーターはオートサロンで一挙に34種類ものBOMEX新エアロを発表。Fバンバースポイラーは、「ビッグマウスタイプ」という。大型インターフューラーを装着しても効率いい冷却が行われるよう、開口部が広く取られている。従来のフォグランプ付きspoilerは、ドレスアップ向き。そしてこちらの「ビッグマウス」は機能を追求したものと、住み分けが図られている。写真的S14用は6万5000円だ。



VeilSide コンバットC5

今回のオートサロンで、一番目立っていたのがこのヴェイルサイドのスープラ。ライトまわりの処理、ガルウイングにより、ベースが何か分からなくなる! ワイドボディのほとんどがカーボンケブラーとなっており、大幅な軽量化がなされている。コンプリートモデルのため単品で市販される予定はないとのこと。このクルマはトレッドを広げられたことで、サーキットでどれくらいタイムが縮まるかのテストを行っていくという。



TRDエアロカウル 可変式リアspoiler

TRDが近日中に発売するというセリカ用エアロバッヅ。リアspoは角度を調整できる可変式。他のメーカーからも可変式リアspoが見受けられた。立て氣味にしたり、寝かせたりして遊べそうだ! R33GT-Rは純正で可変式エアロ。今年は「可変」が流行する!



D.スピード ソルトフラットSPL

今回のオートサロンでは180SXの出展が多かったのが特徴。やはりイマ1番の売れセン車種だからだろう。D.スピードも様々なエアロを出展している。写真はタイプIIというFスポイラーを装着。近々、3万9000円でリップspoiler(SRバンパー用)も発売する。



ナイトスポーツ グランドエフェクト

ナイトスポーツのドレスアップエアロ。バンバースポイラーは、4灯のランプがビルトインされている個性的なもの。かなりイカツいデザインだ。13万8000円。ヘッドライトも4ピーム式。ちなみにこちらは8万5000円。全船ライトを点灯したら、かなり明るい!



トライアル リアspoiler

フォーミュラマシンのspoilerを作っていた人物が開発に携わったというリアspoiler。今まで見られなかった形状だ。「下の2枚目の羽根の形状を見てよ。さすが職人の仕事と思うでしょ。本気でダウンフォースにこだわってみたんだ(金久氏)」という。

機能変式が高イングに2段重ねに